

「OB・OGの交流広場」に寄せて

入尾 範之

1980年大阪市立大学卒業の入尾です。第一回投稿の原田さん、理事長の長内さんとは同期です。現在は、愛知県犬山市在住で、県の卓球協会役員や市の責任者も務めています。

長内さんとは、同じ関西国公立大学のキャプテン、ライバルとして張り合った仲です。印象に残っているのが、彼の京都大学へ練習試合に行った時のことです。その卓球場の環境の素晴らしさ…さすが国立の雄、設備も立派だなあ、と…。それに比べ、市大の卓球場は貧弱だなあ、と…。狭くて、ぼろぼろで、汚く、暗く、カーテンも破れが目立ち…「練習環境なんかは負けてたまるか！」と、より一層奮起した記憶があります。

当時はコーチなどおらず、自分達だけで、自分達の個性や特徴を活かした卓球を目指していました。練習量は半端ではなかったです。部員も実力アップし、全盛期とも言える時期で、関西学生リーグの1部でプレイできたことも強く思い出に残っています。関西学生選手権では、2年後に世界チャンピオンとなる小野誠治選手とも対戦できました。

大学卒業後は東海銀行に就職し、転勤・転居を繰り返し時々数年間の中断はあったものの、卓球は継続しています。40歳代の半ばくらいから、全日本マスターズ選手権の県予選にも参加するようになり、なるべくいろいろな大会・試合にも参加するようになりました。銀行時代は、せいぜい週に一回練習できる程度でしたが、53歳で銀行本体の現場を離れてからは週に3～5回と練習回数は増えました。昨年4月の誕生日をもって嘱託勤務も終了となり、ますます「卓球三昧」の現状です。

今は年代別の大会をメインに、まずは全日本マスターズ出場、中部日本選手権と東海選手権での上位入賞を目標に頑張っています。全日本マスターズでは、県予選を突破できた時に本大会会場で、懐かしい諸先輩、同輩、後輩とも顔を合わせ、昔話にも花が咲きます。当時の関西の大学関係者では、大学の先輩小松繁さん(兵庫)や後輩の大水勝幸君(奈良)、神戸大卒の小谷満さん(兵庫)、大阪教育大卒の橘和明さん(奈良)、大阪大卒の永田剛さん(大阪)、大阪府立大卒の増田健一さん(東京)、京都大卒の河原充さん(東京)など…。

皆さんも、是非、全日本マスターズに挑戦してください。今からでも頑張れば、若いころに「雲の上の存在」だった強豪選手にも勝てる可能性がありますよ！それと、今まで一度も参加できていない「国公立大学OB・OG卓球大会」にも、なんとか参加したいと思っています。名古屋大卒の西山さんらにもお誘いいただいているのに、実現できていません。参加して、昔の仲間とも懇親を図りたい、旧交をあたためたいと思っています。